

# ソーシャルボンド・ インパクト・レポート

2021年度



# IFCとは

世界銀行グループの一員である IFC は、新興市場の民間セクターに特化した世界最大規模の国際開発金融機関です。IFC は 100 ヶ国以上で業務を行い、資金、専門知識、及び影響力を駆使しながら、途上国において市場と機会を創出しています。2021 年度 (2020 年 7 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日まで) には、各国が新型コロナウイルス感染症の世界的大流行 (パンデミック) による影響に対処しようとする中、民間セクターの力を活用して極度の貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進するため、途上国の民間企業及び金融機関に対して 315 億ドルという記録的な金額のコミットメントを行いました。詳細については [www.ifc.org](http://www.ifc.org) をご覧ください。

# ソーシャルボンド・ インパクト・レポート

2021年度





*Evelio Vasallo, owns a store  
in Bogota, Colombia.  
Photo: Luis Angel*

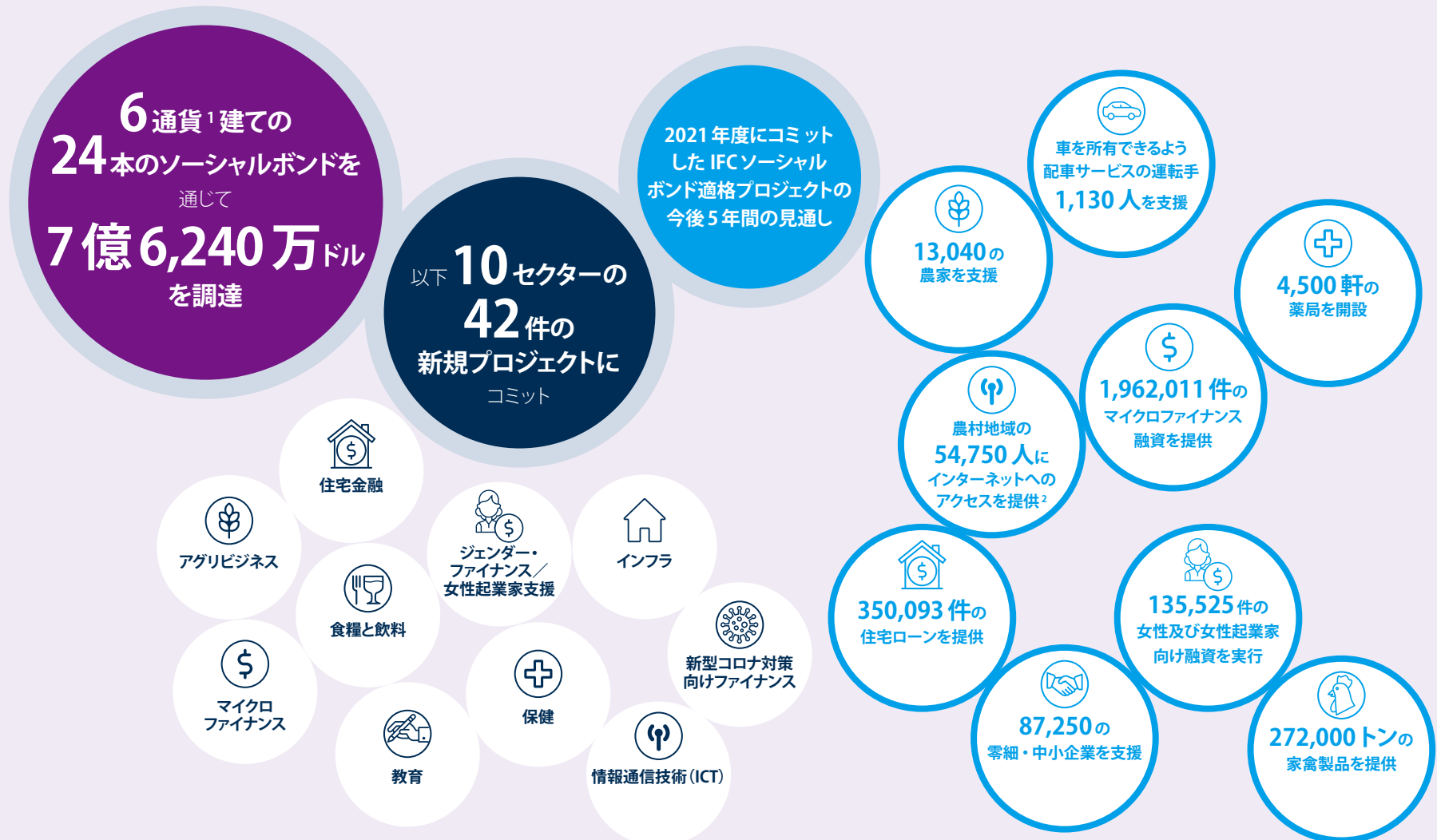
# 目次

2	2021年度のハイライト
3	累積的ハイライト
4	トレジャラーからのごあいさつ
5	経済及び民間セクター開発担当副総裁が語る、お伝えしたいこ
6	IFCソーシャルボンドの資金供与の対象となるプロジェクト
7	2021年度のIFCソーシャルボンド・プログラムの概要
8	ソーシャルボンド適格プロジェクト：地域別コミットメント及び融資実行額
9	ソーシャルボンド適格プロジェクト：セクター別コミットメント及び融資実行額
10	IFCの80億ドルのファストトラック・COVID-19ファシリティの最新状況
12	注目プロジェクト：ElCat
14	サステナビリティボンド：ジェンダーギャップを埋め、男女平等を実現するために
16	注目プロジェクト：Nobel İlaç
18	IFCの資本市場のためのESGパフォーマンス指標に焦点を当てる
20	注目プロジェクト：LAPO Microfinance Bank
<b>22</b>	<b>2021年度にコミットしたソーシャルボンド適格プロジェクト</b>
32	付属資料A：IFCソーシャルボンド・プログラムのプロセス
36	付属資料B：過年度のコミットメント及び融資実行額の調整
36	付属資料C：ロシアとベラルーシにおける世界銀行グループの業務の最新状況
38	作成者及び免責事項

## 2021年度のハイライト

# 2021年度のソーシャルボンド発行状況

2021年度のプロジェクトは、以下の持続可能な開発目標 (SDGs) に対応しています。



## 累積的ハイライト

# 2017年度～2021年度の ソーシャルボンド・プログラム

IFCは、2017年に女性起業家支援プログラムとインクルーシブ・ビジネス・ボンド・プログラムを統合し、ソーシャルボンド・プログラムを発足させました。

11通貨建ての  
63本のソーシャルボンドを  
通じて  
38億ドルを調達<sup>3</sup>

194件の  
プロジェクトに  
総額58億ドルを  
コミット

<sup>3</sup> これらの数値は2017年度～2021年度における発行額であり、2015年度～2016年度に発行されたインクルーシブ・ビジネス・ボンド2億9,600万ドルと、2014年度～2016年度に発行された女性起業家支援ボンド2億6,800万ドルを含みません。

<sup>4</sup> 事前評価に基づく総計は、ソーシャルボンド適格プロジェクトに対する全コミットメントの目標値を含みます。これらのプロジェクトの一部はその後を終了している場合があります。

<sup>5</sup> この数値は、電力の接続先及びサービスを提供した顧客の数を含みます（接続先1ヶ所を1つの顧客と計算しています）。

<sup>6</sup> [https://www.who.int/water\\_sanitation\\_health/dwq/nutrientsindw.pdf](https://www.who.int/water_sanitation_health/dwq/nutrientsindw.pdf)

## 5年間のインパクトの概要<sup>4</sup>

-  **2,450,631** の農家を支援
-  **300** 万人に食糧を提供
-  **730** 万人に電力を供給<sup>5</sup>
-  **792,651** 件の住宅ローンを提供
-  **43,114,750** 人に通信、メディア、テクノロジー・サービスを届ける
-  栄養失調の子ども **1,600,000** 人を治療
-  **102,361** の零細・中小企業をバリューチェーンに組み込む
-  **19,971,162** 件のマイクロファイナンスを提供
-  **34,185** 件のアグリファイナンスを提供
-  **137,441** 人の学生を学校に通わせる
-  **6,470,579** 件の女性及び女性起業家向け融資を実行
-  **22,448** の拠点を通じて医療へのアクセスを拡大
-  大人 **113,973** 人の1年間の飲料水に相当する **832,000** ヘクトリットルの水を提供
-  **703,255** 人の患者を支援
-  **5,500** 人を直接雇用
-  車を所有できるように配車サービスの運転手 **1,130** 人を支援
-  タンパク質及び微量栄養素へのアクセスを改善するため **272,000** トンの家禽製品を提供



## トレジャラーからのごあいさつ

ジョン・ガンドルフォ  
IFC 財務担当副総裁  
兼トレジャラー



**途** 上国では、貧困に対処するための革新的な金融ソリューションに対するニーズがかつてないほど高まっています。紛争やパンデミックは今なお人々の雇用や生活を脅かし続けています。世界銀行によると、最も貧しい40%の国々ではまだパンデミックからの回復が始まっておらず、貧困削減に向けた過去数年の歩みが後戻りしつつあります。一方、ロシアのウクライナ侵攻はエネルギー価格、穀物市場、及び食料不安に広範な影響を及ぼすと見られ、途上国も深刻な影響を受けると考えられます。

こうした中、社会問題に焦点を当てた金融商品に対する投資家の投資意欲は拡大傾向にあり、環境・社会問題への取り組みを目的とする債券の市場は、パンデミック発現以来、勢いを増しています。

その中でも最も成長著しいのがソーシャルボンドです。2021年のソーシャルボンドによる資金調達額は2,060億ドルにのぼり、2022年には3,000億ドルに達すると予想されています。

私たちは、ソーシャルボンドにスポットライトを当てるためにIFCが果たしてきた役割を誇りに思っています。私たちはソーシャルボンドに関する基準の策定に向けた対話を主導し、投資家の資金を市場に呼び込む取り組みを支援してきました。IFCのソーシャルボンド・プログラムは2021年も急速な成長を続けました。ソーシャルボンドの発行を通じて調達した資金は、女性が経営する企業や小規模農家の立て直しを手助けし、手頃な価格の住宅や保健医療を支援するプロジェクトに充てられるだけでなく、事業を強化し、雇用を保全するIFCの努力に必要不可欠です。

IFCは2021年を通じて、足元の課題への対応を強化し、途上国における環境に配慮した包摂的な回復を支援しました。

私たちは、既存顧客に流動性を提供する目的で2020年3月に設立された80億ドルのファストトラック・COVID-19ファシリティの活用を続けました。IFCが2021年の暦年末までに同ファシリティから拠出した金額は62億ドルにのぼります。

このうち約43%が最も貧しい国々や脆弱な環境や紛争の影響下にある国々の支援に充てられます。

また私たちは、医療機器の供給を拡大し、現地での医療用品の製造・販売を改善するため、40億ドルのヘルス・プラットフォームを通じて引き続き顧客を支援しました。

さらにIFCは、新型コロナ禍の救援活動を支援するため、先般、20億ドルの新興国サステナビリティ（Sustainable Emerging Economy Debt, SEED）債券ファンドを発表しました。欧州最大級の資産運用会社であるアムンディが運用する同ファンドは、先進国の機関投資家から最高130億ドルの資金を動員し、新興市場で発行されたサステナビリティボンドに投資する予定です。債券発行による調達資金は、清潔な飲料水や、手頃な価格の保健医療及び住宅を提供し、食料安全保障を強化し、環境に配慮した包摂的な回復を支援するプロジェクトに充当されます。私たちは、同ファンドによってサステナビリティボンド市場が一段と強化され、恵まれない人々を支援するプロジェクトにより多くの資源が割り当てられることを願っています。

ジェンダーに焦点を当てた債券の市場は、私たちが更なる成長を期待している領域の1つです。パンデミックを理由に、数多くの女性が労働市場から去ることを余儀なくされました。しかしサステナビリティボンド市場のうち、女性支援プロジェクトに特に焦点を当てている債券はごくわずかです。IFCは先般、国連女性機関（UN Women）や国際資本市場協会（ICMA）と共同で、借り手や引受会社、債券発行体がサステナビリティボンド商品に男女平等を組み込むことを支援するためのガイドンスを策定しました。

貧困を軽減する金融ソリューションへのニーズは極めて大きく、このような困難な時期にこの市場が成長を遂げていることを心強く思います。本レポートでは、ソーシャルボンドの調達資金を充当したソーシャルボンド適格プロジェクトのリストを提示し、予想される成果を記載しています。



# お伝えしたいこと

## 経済及び民間セクター開発担当副総裁スーザン・ランドとの対話



### ① IFCでの役割について教えてください。

私は2021年10月に経済及び民間セクター開発担当副総裁としてIFCに加わり、IFCの投融資を支援するための経済分析を提供する大勢のエコノミストのリーダーを務めています。また、IFCによる投融資の開発効果を評価するための開発効果測定フレームワーク(AIMM)や、低所得国や脆弱な環境にある国々への投融資を可能にするためにブレンド型譲許的ファイナンスの活用機会を特定すること、及びIFCの調査やソート・リーダーシップの監督に責任を負っています。

### ② 2022年の世界見通しについて聞かせてください。

世界の回復は二極化しつつあります。先進国が力強い回復を遂げる一方で、新興国や途上国は取り残されつつあります。新興国全体で見ると、2021年には6.3%という力強い回復を遂げたものの、成長率は2022年に4.6%に、2023年には4.4%まで低下する見通しです<sup>7</sup>。この成長率は、各国がパンデミックによる経済的損失を取り戻し、新型コロナ禍前の発展軌道に戻るには不十分です。多くの低所得国に目を向けると、小規模な国々や、脆弱な環境や紛争の影響下にある国々を中心に、成長率は低水準にとどまっており、国内総生産(GDP)や投資はパンデミック前の水準を大きく下回ると予想されています。その多くは、ワクチンへのアクセスが不平等であること、政府による財政・金融引き締め政策、及びパンデミックの爪痕が他の国より根強く残っていることが原因です。

### ③ 新興市場や途上国の見通しに影を落とす下振れリスクはどのようなものですか。

見通しに影を落とす要因は、COVID-19に関連した混乱の拡大、サプライチェーンの更なる制約(ボトルネック)、予想を上回るインフレ率や金利の上昇など様々です。多くの国の債務水準が上昇していることが、こういった事態を一層悪化させています。

世界の債務水準は大幅に上昇しました。世界の債務総額は世界のGDPの263%に達し、過去50年間の最高水準まで膨らんでいます。最も貧しい国々の半数以上が既に過剰債務に陥っているか、そうなる高いリスクを抱えています。インフレ率の上昇も依然として脅威です。新興市場では総じてインフレ率が上昇しており、2021年には

5分の4の新興国でインフレ率が上昇したほか、約3分の1の新興国では食品価格が2桁も値上がりしました。先進国のインフレはそれ以上に脅威です。先進国の金利上昇を背景に、世界の投資家が新興市場から資金を引き揚げているためです。米連邦準備制度理事会(FRB)が米国金利を引き上げるとの予想を元に、2022年1月の新興市場に対する民間資金の流入額は既に前年を大きく下回っています。

### ④ 新興市場にはどのような長期的な機会がありますか。

こうしたマイナス要因にもかかわらず、明るい材料もあります。新しい開発モデルの輪郭が浮かび上がりつつあり、今の低所得国には、徐々に所得水準を高めていった旧世代の低所得国にはなかった方法での開発機会があります。

その1つが国内市場向け製造業です。2年前には、アフリカでのワクチン製造について話す人はいませんでした。2年経った今、私たちは、必要不可欠な製品は各地域で製造可能でなければならないことを認識しています。こうして製造業の機会が開かれました。

もう1つの明るい材料はデジタル・トランスフォーメーションです。途上国にもデジタル・イノベーションの大きな波が押し寄せつつあります。中でも最も顕著なのがフィンテックやモバイル決済です。サブサハラ・アフリカはモバイル・バンキングのリーダーとして浮上り、世界のモバイル・バンキング口座のほぼ半数を占めています。もう1つの例としては、農家と販売業者や卸売業者を結ぶ電子物流が挙げられます。

これらの国々の民間セクターを育てる上での最大の障害の1つは、資金面での十分な後ろ盾や、海外投資家が「利益になる」と考える事業見通しを備えたプロジェクトが不足していることです。IFCはこの状況に対処するため、途上国の生産的投資に民間資金を呼び込む条件を整えるべく、積極的に取り組んでいます。

またIFCは、資金調達プラットフォームを増やし、IFCと共同投資を行う機関投資家のプールを広げる一方で、自己勘定からの投資1ドルにつき他から2ドル動員することを目標としています。新興市場の最も貧しい人々や最も脆弱な人々を支援するためには、民間セクターの投資機会により多くの資金を活性化する必要があります。

7 世界銀行「世界経済見通し」、2022年1月

## IFCソーシャルボンドの資金供与の対象となるプロジェクト

ソーシャルボンド・プログラムは、ターゲット層をはじめとする支援対象により良い社会的成果をもたらすことを目的としたプロジェクトを支援します。ソーシャルボンド原則で挙げているソーシャル・プロジェクトのカテゴリーは、以下を提供または推進するものを含みます。

- A 手頃な価格で利用できる基本的インフラ（例：清潔な飲料水、下水道、衛生、交通、エネルギー）
- B 基本的サービス（例：教育・職業訓練、保健医療、融資及び金融サービス）へのアクセス
- C 手頃な価格の住宅
- D 雇用の創出（中小企業への資金提供とマイクロファイナンスの潜在的効果によるものを含む）
- E 食料安全保障
- F 社会的・経済的発展とエンパワーメント

これには、上記の基準を満たし、IFCによる資金提供を受ける以下のようなプロジェクトが含まれます。

IFCの**女性起業家支援**：金融仲介機関に対し、女性が経営する零細・中小企業への転貸を資金用途とする融資を行うプロジェクト。

IFCの**インクルーシブ・ビジネス**：経済ピラミッドの下層部（BOP 層）に位置する、サービスを十分に受けられていない人々を自社のバリューチェーンに組み込む企業とのプロジェクト。例として、以下のプロジェクトが挙げられます。

- 保健医療または教育サービスを提供するもの
- 手頃な価格帯の住宅を開発するもの
- ブロードバンドまたは携帯電話など、通信の手段を拡大するもの
- 電力または水道サービスを提供するもの
- 小規模農家から調達を行うもの
- 融資へのアクセスを提供するもの
- 家族経営の小規模小売業者を通じて販売を行うもの

IFCの**COVID 対策プロジェクト**：IFCの80億ドルのファストトラック・COVID-19ファシリティの中から選ばれたプロジェクト。このパッケージでは、COVID-19のパンデミックによって事業に明確に支障が出ているIFCの既存顧客に対し、ファストトラックによる資金支援を提供します。顧客のIFCに対する延滞がないこと、及び環境・社会・ガバナンス（ESG）要件を遵守していることなどが支援の条件となります。



## 2021年度の IFCソーシャルボンド・プログラムの概要

2021年度には、IFCはソーシャルボンドの順調な発行ペースを維持し、2017年にソーシャルボンド・プログラムを開始して以来、史上2番目に高い発行額を記録しました。2021年度には、プログラム発足以来最多となる24本のソーシャルボンドを6通貨建てで発行し、総額7億6,240万ドルを調達しました。これにより、2021年6月30日現在、IFCのソーシャルボンド累積発行額は38億ドル、発行本数は63本、発行通貨は11通貨となっています。

特にカンガルー債市場での需要は高く、IFCが2021年度に発行したソーシャルボンドの中では豪ドル建てが年間発行額の65.5%と最も多くの割合を占め、次いで米ドル建てが21.1%となりました。

IFCは2021年2月前半、固定金利を担保付翌日物調達金利（SOFR）によるベンチマーク金利にスワップする最初のソーシャルボンドを発行しました。これは、生命保険会社をはじめとする日本の投資家の間で需要の高いIFCの1億5,500万豪ドルのカンガルー・ソーシャルボンド（2035年4月満期）の「タップ」、つまり追加発行のために行われました。この追加発行はIFCがSOFRベースでのスワップを行った最初の事例であり、カンガルー債市場での最初の事例でもあります。

なお、日本と米国の生命保険会社や資産運用会社からの継続的な需要を満たすため、2021年度には11回のカンガルー・ソーシャルボンドの追加発行を行い、調達総額を4億5,190万米ドル相当拡大しました。

IFCは年間を通じて、公的機関、生命保険会社及び個人投資家を含む米国と日本の投資家を主な対象として私募を行い、総額2億3,380万ドルの8本のソーシャルボンドを豪ドル、ブラジル・レアル、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド及び米ドル建てで発行し、市場に多様性を提供しました。

IFCはブラジル・レアル建てと、ソーシャルボンド・プログラムとしては新しい新興市場通貨である人民元建てで、売出形式により総額1,670万ドルの2本のソーシャルボンドを発行しました。売債市場での継続的かつ活発な発行により、IFCは **CMDportal** が選ぶ債券資本市場リーダー・アワード2022の「最優秀売債発行体 (Best Uridashi Issuer)」賞を授与されました。

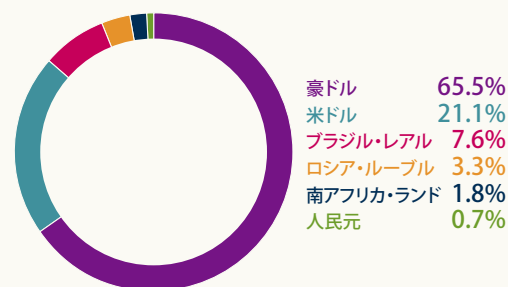
これまでと同様、IFCは引き続き途上国の社会にプラスのインパクトを与えると同時に、投資家に投資リターンと持続可能な開発目標（SDGs）を支援する手段を提供していきます。

### 累積的ソーシャルボンド発行累積額

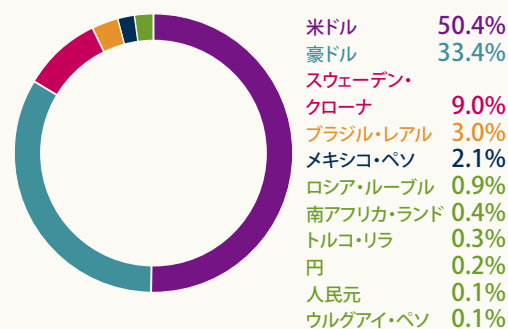
発行額: **38億ドル**

ソーシャルボンド発行本数: **63**

### 通貨別2021年度の ソーシャルボンド発行額



### 通貨別ソーシャルボンド 累積発行額





# ソーシャルボンド適格プロジェクト： 地域別コミットメント及び融資実行額

(百万米ドル)

2021年6月30日現在、IFCソーシャルボンドの調達資金を充当した適格プロジェクトは194件です。これらのプロジェクトへのコミットメント総額は56億ドルです。

## 地域別コミットメント及び融資実行額

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	<b>620</b>	<b>717</b>	<b>823</b>	<b>2,156</b>	<b>1,501</b>
融資実行額	<b>364</b>	<b>614</b>	<b>844</b>	<b>966</b>	<b>1,868</b>

## ラテンアメリカ・カリブ海

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	<b>42</b>	<b>108</b>	<b>205</b>	<b>319</b>	<b>395</b>
融資実行額	<b>8</b>	<b>86</b>	<b>237</b>	<b>227</b>	<b>285</b>

## 欧州・中央アジア

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	<b>109</b>	<b>177</b>	<b>20</b>	<b>166</b>	<b>232</b>
融資実行額	<b>107</b>	<b>154</b>	<b>41</b>	<b>76</b>	<b>224</b>

## 中東・北アフリカ

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	<b>12</b>	<b>106</b>	<b>7</b>	<b>116</b>	<b>27</b>
融資実行額	<b>7</b>	<b>5</b>	<b>108</b>	<b>21</b>	<b>107</b>

## サブサハラ・アフリカ

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	<b>155</b>	<b>104</b>	<b>130</b>	<b>532</b>	<b>181</b>
融資実行額	<b>109</b>	<b>79</b>	<b>22</b>	<b>97</b>	<b>502</b>

## 多地域

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	-	-	-	<b>120</b>	-
融資実行額	-	-	-	<b>120</b>	-

## 南アジア

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	<b>165</b>	<b>151</b>	<b>320</b>	<b>317</b>	<b>345</b>
融資実行額	<b>100</b>	<b>122</b>	<b>383</b>	<b>146</b>	<b>239</b>

## 東アジア・大洋州

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	<b>137</b>	<b>71</b>	<b>141</b>	<b>586</b>	<b>321</b>
融資実行額	<b>33</b>	<b>168</b>	<b>53</b>	<b>279</b>	<b>511</b>

# ソーシャルボンド適格プロジェクト: セクター別コミットメント及び融資実行額

(百万米ドル)



## アグリビジネス

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	119	56	75	273	86
融資実行額	104	41	31	168	129



## 情報通信技術

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	-	137	15	-	3
融資実行額	-	31	105	9	-



## インフラ

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	20	-	-	28	10
融資実行額	13	-	-	20	8



## 教育

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	-	5	-	106	40
融資実行額	-	1	1	-	57



## ジェンダー・ファイナンス

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	-	241	253	407	130
融資実行額	40	189	215	326	212



## その他金融

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	3	4	-	-	-
融資実行額	-	1	1	1	2



## 食糧と飲料

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	29	37	18	56	31
融資実行額	3	15	29	20	76



## 住宅金融

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	-	20	-	248	275
融資実行額	-	20	-	248	-



## 新型コロナ対策向けファイナンス

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	-	-	-	763	434
融資実行額	-	-	-	50	881



## 保健

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	-	68	37	9	159
融資実行額	-	-	85	-	160



## マイクロファイナンス

年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミットメント	449	150	424	179	333
融資実行額	205	316	405	125	343

## IFCの80億ドルのファストトラック・COVID-19ファシリティの最新状況

### IFCの80億ドルのファストトラック・COVID-19ファシリティ

		支援枠 (百万米ドル)	コミットメント (百万米ドル)*
<b>実体セクター(危機対応)支援枠</b>	インフラ、製造業、農業、サービス業及び保健医療セクターの既存顧客を支援します。	2,000	1,161
<b>運転資金ソリューション</b>	新興市場の銀行に資金を提供し、融資枠の拡大を通じて、企業が必要経費や従業員の給与を支払うための運転資金を十分に確保できるように支援します。	2,000	1,483
<b>グローバル貿易流動性補完プログラム(GTLP)、クリティカル・コモディティ金融プログラム(CCFP)</b>	資金調達及びリスク共有型の支援を通じて新興市場の銀行に資金を提供し、現地企業への融資を継続できるよう支援します。	2,000	1,075
<b>新設 ベース・オブ・ピラミッド</b>	<b>零細・中小企業(MSME)を主な顧客とするマイクロファイナンス機関、ノンバンク及び銀行に融資を行います。</b>	<b>400</b>	<b>93</b>
<b>グローバル貿易金融プログラム</b>	金融機関の支払リスクをカバーし、金融機関が引き続き輸出入企業に対し貿易金融を提供できるように支援します。	2,000	2,000
		<b>Total</b>	<b>5,812</b>

\*Commitments as of June 30th, 2021



### グローバル・ヘルス・プラットフォーム (GHP)

途上国の保健医療分野のメーカー、サプライヤー、及びサービス・プロバイダーに金融ソリューションを提供することで、手頃な価格の保健医療製品やサービスの供給を増やすための設備拡張資金や運転資金を賙えるよう支援します。

支援枠  
(百万米ドル)

4,000

コミットメント  
(百万米ドル)\*

1,200

**新** 型コロナ禍の収束後に新興市場及び途上国の景気を回復させるためには、民間セクターを再び活気づけることが極めて重要です。IFCはその実現に向けて、途上国が保健危機を乗り越え、雇用を保全し、環境に配慮した強靱で包摂的な回復を遂げられるよう、支援を強化しました。

IFCは、パンデミックによって浮き彫りになった保健医療制度の脆弱さへの対応に取り組んでいます。途上国は、COVID-19やその他の病気と闘うためのワクチンや医療用品への公平なアクセスを必要としています。IFCは市場のギャップに対応し、各国の製造・販売能力を高め、官民のパートナーシップを支援して保健制度のレジリエンスを高めることに取り組んでいます。

途上国で事業を成長させる上で最大の障害となるのは資金へのアクセスであり、パンデミック前のデータでは、不足資金額は8兆ドル近くに達していました。もともと与信を受けるのが困難だった企業はCOVID-19による混乱を乗り越えるための余裕がほとんどないため、このギャップは拡大する可能性が高いと思われます。

IFCは、パンデミックの余波を受けて今も苦戦している零細・中小企業 (MSME) の支援に取り組んでいます。これらの企業はIFCの顧客である国々の経済の基盤を成しており、基本的サービスを提供し、雇用を創出し、家庭を貧困から抜け出させ、長期的に生活を維持できるようにする役割を果たしています。IFCは2021年度に、顧客の危機対応を支援するため、80億ドルのファストトラック・COVID-19ファシリティとは別に85億ドルの追加融資を行いました。

**Nobel Ilacの生産技術者である Kerem Elibol**  
(トルコ、デュズジェ)

写真：Pinar Gediközer



# ElCat

## 情報通信テクノロジー (ICT)、 キルギス共和国

### キルギス共和国のインターネット接続を支援する

キルギス共和国の Meereim Arunova は昨年、住んでいる村の大部分が COVID-19 のために閉鎖された時、パソコンもインターネット接続もない状態で子どもたちにオンライン授業を受けさせなければなりませんでした。Arunova は携帯電話や、テレビ経由でアクセス可能な他のいくつかの選択肢を駆使することで、娘たちが学校の勉強について行けるよう手を尽くしました。

オンライン授業は、自分の家族や他の多くの人々にとっては大きな負担だった、と Arunova は言います。

「キルギスの多くの家庭では、子ども一人ひとりに必要な機器や安定したインターネット接続がないことが深刻な問題となっています」と Arunova は言います。「多くの家庭は、子ども全員の勉強を 1 台のスマートフォンで何とかやりくりしています。」

パンデミックは、経済成長や雇用創出にとってブロードバンドが必要不可欠である

理由、またその欠如が日常生活のほぼすべての側面にどう影響を及ぼすかを浮き彫りにしました。世界銀行による 2016 年の調査は、途上国においてブロードバンド固定回線の普及率が 10% 上昇すると、GDP 成長率は 1.38% 上昇すると結論づけています。キルギスのインターネット接続やブロードバンドの通信速度は世界平均を大きく下回っており、一部の遠隔地ではインターネットにほとんど、または全く接続することができません。家庭や企業、公的機関により高速でより安定したインターネット接続を提供するためには、ブロードバンド・インフラが必要です。このインフラは、デジタル技術を活用して雇用機会を創出し、保健や教育などの電子政府サービスの利用を拡大し、銀行サービスを受けられないコミュニティでの電子決済を可能にする上で必要不可欠です。

IFC は、キルギス最大の企業向け民間ブロードバンド事業会社である ElCat に 300 万ドルの融資を行うことで、同社の通信インフラ拡大を支援し、同セクターの他の事業者によるネットワークの開発を後押ししています。したがって、この投融資により、サービスを十分に受けられていない地域やインターネット接続のない地域を含め、キルギス全土で手頃な価格の高速インターネット・サービスへのアクセスが改善されると予想しています。

IFC によるこの支援は、世界銀行と IFC が共同で行っていた、民間セクターのソリューションを開発することでインターネット普及率が低い支援対象国の接続ギャップを埋めるための取り組みから派生したものです。

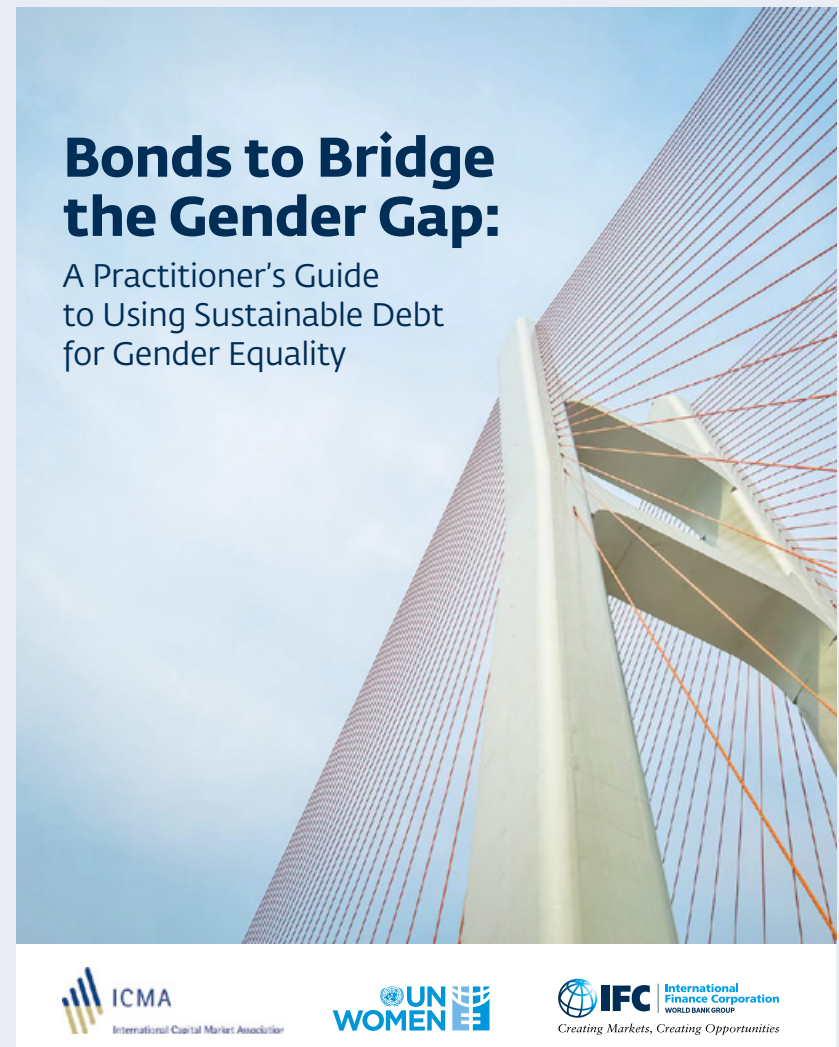


高速インターネット接続がなかったため、Meerim Arunovaと娘たちはたった1台の携帯電話でオンライン授業を受けていました。  
写真提供：Kymbat Ybysheva提供



## サステナビリティボンド： ジェンダーギャップを埋め、男女平等を実現するために

2021年11月、IFC、国連女性機関（UN Women）及び国際資本市場協会（ICMA）は、サステナビリティボンドの発行を通じて男女平等を推進するための新しい実務ガイダンス「[Bonds to Bridge the Gender Gap: A Practitioner's Guide](#)（ジェンダーギャップを埋めるための債券：実務家のためのガイド）」を公表しました。このガイドは、サステナビリティボンドを利用して男女平等という目標を推進するプロジェクトや戦略の資金を調達する方法についてのガイダンスを提供するものです。ジェンダーに関連した調達資金の用途を特定する方法や、ジェンダー関連の目標を設定する方法について、例を挙げながら解説しています。このガイドはソーシャルボンド原則（SBP）、サステナビリティボンド・ガイドライン（SBG）及びサステナビリティ・リンク・ボンド原則（SLBP）という既存の世界的なフレームワークに基づいて作成されており、これらの文書と併せて考慮する必要があります。



IFCは、実務ガイダンスの公開を記念してオンライン・イベントを開催しました。パネリストのコメントをご紹介します。

#### アニタ・パティア

国連事務局次長兼国連女性機関副事務局長

「各国の政府や民間セクターは、女性が再び経済システムに戻るよう、互いに協力する必要があります。そこで資本市場の出番となります。サステナビリティボンドは大幅に増加しましたが、そのうち何本が実際にジェンダーに焦点を当てているかと言えばごく少数です。ジェンダー関連の問題解決に資源を割り当てるよう促す上で、資本市場には果たすべき役割があると考えています。」

#### オードリー・チョイ

モルガン・スタンレー、チーフ・サステナビリティ・オフィサー

「私たちがジェンダー問題について考えるのは、それが問題領域だけではなく、企業にとって根本的に重要—つまり利益を左右するからです。女性の経済を回復させない限り、経済全体を回復させることはできません。」

#### ジュリー・モナコ

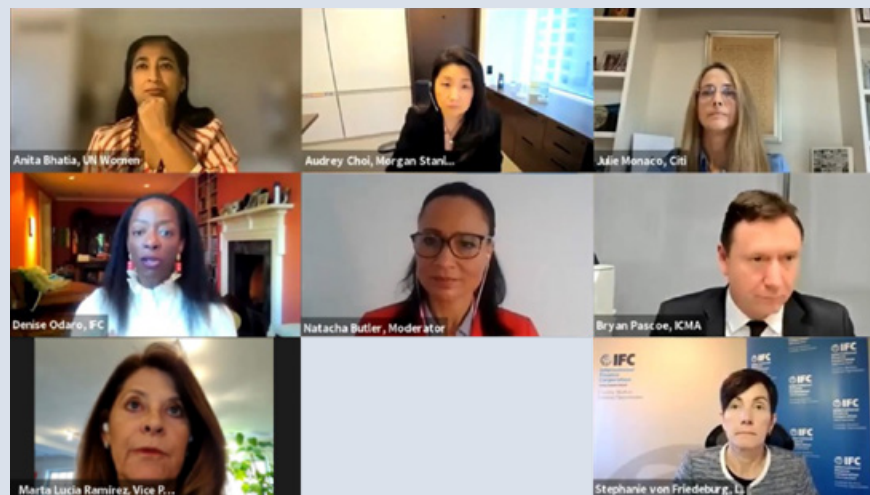
Citi マネージング・ディレクター兼公的セクター、銀行、資本市場及びアドバイザー部門グローバル責任者

「新規の発行体に対する私からのアドバイスは、ジェンダーに特化した債券、サステナビリティ・リンク・ボンド、またはソーシャルボンドのどれを発行するかにかかわらず、それによって男女平等にどのような影響を与えたいのかを理解する必要があること、また投資家を引きつけるためには適切なすべての効果測定基準を設ける必要があるということです。」

#### デニス・オダーロ

IFC、IR部門責任者

「私たちはこのガイダンスを、この切実なニーズに対する資金の割当を支援する一大変革となることを意図して作成しました。サステナブルファイナンス（持続可能な金融）の台頭により、より多くの資金をジェンダーギャップの縮小に振り向けるための明確な道筋が生まれました。このガイドは市場の実務家を対象としています。『ジェンダーギャップを埋めるための債券』は、既存のフレームワークに基づいたガイドラインを提供しています。」



#### ブライアン・パスコー

ICMA、チーフ・エグゼクティブ

「ソーシャルボンドの発行自体は、ジェンダーに明確に焦点を当てるといっても、ソーシャルボンドの他の要素や資本市場での資金調達に焦点を当ててきました。ソーシャルボンド市場には、こうした構造的不均衡のために未だ活用されていない巨大な需要があり、資本市場におけるジェンダー・ボンド需要は大きいと見ています。」

#### マルタ・ルシア・ラミレス

コロンビア共和国副大統領兼外務大臣

「女性が本格的な起業家になるための資源を優先的に割り当てるのであれば、包摂について語ることはできないと私は考えています。女性に対する技術支援だけでなく、金融セクターへのアクセスを拡大しなければならぬのはそのためです。今回発行されたガイダンスが、ジェンダーに焦点を当てたソブリン債の発行を奨励するツールとなることは間違いありません。」

#### ステファニー・ヴォン・フリードバーグ

IFC、オペレーション担当上級副総裁

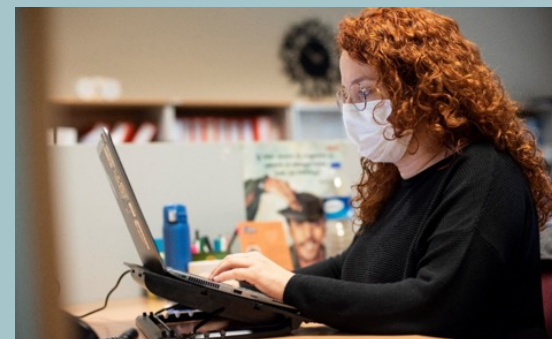
「これは、すべての発行体にとって優れたスターターガイダンスです。新興市場の債券発行は十分ではありません。IFCは、供給と需要の両方を拡大させるために取り組んでいます。私たちは「ビルド・バック・ベター新興市場サステナブル・トランザクション（BEST）」債券ファンドの立ち上げ準備を進めています。これは新興市場が危機から脱するための、ジェンダーに強く焦点を当てた最初のサステナビリティ・リンク・ボンド・ファンドとなるでしょう。」



トルコの首都アンカラとイスタンブールの間、黒海地方の小さな工業都市デュズジェにあるNobelの施設。



**Nobel İlaçの生産技術者であるKerem Elibol**  
(トルコ、デュズジェ)  
写真 © Pınar Gediközer



**Nobel İlaçの品質業務スペシャリストであるGamze Erkan** (トルコ、デュズジェ)  
写真 © Pınar Gediközer

## 注目プロジェクト

# Nobel ilaç

## 保健医療、トルコ

### トルコの医薬品生産を支援する

COVID-19は世界中のサプライチェーンに大混乱をもたらしました。

中でも医薬品セクターは深刻な打撃を受け、医薬品の生産に欠かせない材料の輸出が制限されたことで、命を救う医薬品の納入が遅れ、供給に混乱が生じました。IFCがトルコの大手製薬企業の1つである Nobel ilaç に対して行った融資は、同社が操業を継続し、国内外への薬剤の供給を続けることを支援しています。

2017年からIFCの顧客である Nobel ilaç は、製造が困難な注射可能物質を含む医薬品を製造し、カザフスタン、ウズベキスタン、コソボ、ウクライナなどの中央アジアや東欧を中心に世界50ヶ国で販売しています。同社は癌や循環器疾患の治療に用いられるバイオテクノロジー製品の開発に取り組んでおり、トルコの名門である中東工科大学及びビルケント大学と協力しながら、同社の最先端の研究開発(R&D)施設において国内の新型コロナ・ワクチン開発活動の1つに貢献しています。

Nobel ilaç はパンデミックの最悪期に、ジェネリック医薬品の完成品の生産に重要な医薬品有効成分の輸入が困難な状況に陥りました。長期にわたる国境閉鎖と国内でたびたび実施される都市封鎖(ロックダウン)が相まって、更なる供給問題が生じ、製造・販売に支障が出ただけでなく、キャッシュフローにも影響が出ました。

IFCによる1,000万ユーロの融資は、大いに必要とされていた運転資金を提供し、同社の資金調達ニーズを支え、研究開発や投資に資金を回すことを可能にしました。

Nobel ilaç は現地に医薬品製造施設がない多くの国々で医薬品を販売しているため、この投融資はジェネリック医薬品を手頃な価格で安定供給することに役立ちました。

この融資は、COVID-19の感染拡大に伴う景気悪化によって打撃を受けた民間企業とその従業員を支援するIFCの80億ドルのファストトラック・COVID-19ファシリティを通じて実施されました。



## IFCの資本市場のためのESGパフォーマンス指標に焦点を当てる

**新**興市場における民間セクター主導の持続可能な経済発展を支えるための資金を呼び込み、効率的に配分するには、資本市場の参加者が環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する信頼できるデータを入手できることが極めて重要です。しかし新興国の発行体が開示するESGデータの量と質には大きなばらつきがあります。そのため投資家にとって、ESG問題が長期的な投資リターンに及ぼす影響を考慮することは困難です。このギャップに対処するため、IFCは、報告に関する発行体の負担を軽減し、新興市場におけるサステナビリティ報告を強化するためのサステナビリティ・データの枠組みである「[資本市場のための ESG パフォーマンス指標](#)」を開発しました。

このパフォーマンス指標は、新興市場でESG基準に基づいた投融资のベスト・プラクティスを推進してきたIFCの数十年にわたる経験を活かし、IFCの資本市場向けESGデューデリジェンスを踏襲したものです。同指標は、IFCの世界的に認められた[環境・社会パフォーマンス基準](#)と[コーポレートガバナンス手法](#)から最も重大な課題を抽出しています。同指標は金融機関向けの13の環境・社会指標と20のコーポレートガバナンス指標、及び企業向けの43の環境・社会指標と20のコーポレートガバナンス指標で構成されています。これらの指標は、アニュアル・レポート、サステナビリティ・レポート、統合報告書、債券の目論見書、報道など、一般公開されている情報に適用することが可能です。

このパフォーマンス指標は、新興市場の開示要件にインスピレーションを与え、報告を改善することに貢献してきました。例えばこのパフォーマンス指標はペルーの上場規則に影響を与えています。2019年、民間セクターの投資家、金融仲介機関、及び規制当局で構成されるコンソーシアムであり、ペルーの金融システムにおける責任投資の方針を推進するPrograma de Inversión Responsable (PIR)は、このパフォーマンス指標に基づいて、企業が報告すべきESG要素を策定しました。これらの要素はその後、ペルーの証券規制当局である国家企業・証券監督委員会（National Commission on the Supervision of Companies and Securities、CONASEV）によって報告要件に組み込まれました。このパフォーマンス指標はIFCの「[開示・透明性ツールキット：バランスシートを超えて \(Disclosure and Transparency Toolkit: Beyond the Balance Sheet\)](#)」の一部を構成しており、カザフスタン、フィリピン、ウクライナでの開示要件の策定に活用されています。

IFCは、新興市場の債券発行体に重大なESG情報の開示を促すため、人工知能（AI）、アナリティクス、及びビッグデータを組み合わせて企業の業績やサステナビリティを評価する世界的な金融テクノロジー企業であるアラベスクとパートナーシップを結びました。同社は2021年12月に「ESGブック」プラットフォームを立ち上げ、パフォーマンス指標を利用して収集したESG情報を公開しています。ESGブックは、企業のサステナビリティに関するデジタル情報にアクセスするための、新しい、革新的かつ一元的な情報源です。この取り組みは、発行体がESGデータを開示し、同業他社に照らした評価・比較を行い、ESGの実務に関する情報を投資家に提供することを後押ししています。パフォーマンス指標を用いて収集されたESGブック上のESGデータは、金融界その他の関係者に公共財として提供されています。

IFCは引き続き、機関投資家や資産運用会社と協力し、パフォーマンス指標を活用した発行体の開示の審査やESGに関するリスク及びパフォーマンスの評価に取り組んでいます。



# LAPO Microfinance Bank

## マイクロファイナンス、ナイジェリア

### ナイジェリアの女性経営企業を支援する

零細企業は COVID-19 がもたらした経済的打撃によって特に大きな影響を受けました。

そうした企業の多くはパンデミック前から与信を受けるのが困難な状況にあり、パンデミックが始まってからは、より多くのリスクと不確実性に直面しなければなりません。

こうした事態を受けて、ナイジェリアの LAPO Microfinance Bank (LAPO MFB) のような、マイクロファイナンス融資に特化した金融機関の重要性が高まっています。同行は同国最大のマイクロファイナンス融資機関であり、80 万人の借り手の大半を非公式経済セクターで働く女性起業家が占めています。これらの女性起業家の多くは、往々にしてグループ単位で平均 230 ドルの融資を受けています。

ナイジェリアで COVID-19 の最初の感染者が確認されてすぐに、同国政府はほとんどの州にロックダウンを導入し、LAPO MFB は業務を 6 週間休止しました。融資担当者は返済金を回収できず、収益が減少し、不良債権が増加しました。

IFC は、借り手が流動性の制約を乗り越えられるよう、800 万ドル相当の現地通貨建て融資を実施しました。LAPO MFB は国内外の市場で資金調達を試みてきたものの、市場で現地通貨建ての中長期の無担保融資をただちに調達することはできていませんでした。

IFC の長期的な顧客である LAPO MFB は、マイクロファイナンス融資への容易なアクセスを提供することで低所得世帯の暮らしぶりを向上させ、保健、教育、その他の社会的な支援を通じて低所得層を支援することをミッションとしています。同行は融資代理店の幅広いネットワークを活かし、他のいくつかの金融機関と共に、遠隔地にサービスを提供してきました。ロックダウンを理由に顧客世帯が生活費を稼ぐことが困難になると、LAPO MFB はお米やトマトペースト、その他の食品を顧客に配りました。

ナイジェリア国内でも州によってロックダウンのモデルが異なるものの、LAPO MFB は完全に業務を再開し、融資を再び拡大しています。







## 2021年度にコミットしたソーシャルボンド適格プロジェクト

以下のインパクト・アセスメント表は、2021年度のIFCソーシャルボンドの資金供与対象となるプロジェクトによって期待される効果を示すものです。セクター別にまとめられたこれらのIFCソーシャルボンド適格プロジェクトは、サービスを十分に受けられていないターゲット層のために、融資その他基本的サービスへのアクセスを改善することを目的としています。適格プロジェクトのカテゴリーには、ソーシャルボンド原則に記載されたものが含まれます。2021年度には、以下のSDGsに対応するプロジェクトにコミットしました。



本報告は、プロジェクトの影響評価時における事前評価に基づいています。インパクト・アセスメント表の数値には、建設中または実施途中にあるプロジェクトの効果の概算値が含まれており、これらの効果の実現する保証はありません。そのため、この報告は、特定の年度または報告期間において達成された実際の効果を報告するものではありません。

## インクルーシブプロジェクト









### 実体経済セクター

実体セクターの適格プロジェクトには、低所得層またはサービスを十分に受けられていない人々、あるいはその両方による、商品、サービス、及び市場へのアクセスを拡大することに重点を置いたものが含まれます。2021年度のターゲット層には以下が含まれます。

- (往々にして重要な投入財やテクノロジー、資金源へのアクセスを持たず、一般的に非常に貧しく、農産物市場へのアクセスが限定的な) 小規模農家
- ブロードバンドその他の情報通信技術サービスへのアクセスが不十分な (多くの場合農村地域に居住する) 人々
- (低所得層を含め、質の高い手頃な価格の医薬品または医療サービスへのアクセスが不十分な) 患者
- (一般的に資産、サービスまたは市場機会へのアクセスが限定的な) 零細起業家
- (雇用機会につながる質の高い手頃な価格の教育または訓練へのアクセスが限定的な) 若者

#### インパクトのハイライト

指標	基準値	目標
車所有計画に参加する配車サービスの運転手の数(人)	0	1,130
支援する農家の数(軒)	7,000	13,000
通信ケーブルを引いた農村部の家の数(軒)	450	10,950
辺境地域に開設された店舗	3,726	4,500
販売量:		
肉(トン)	46,000	79,000
卵(トン)	111,000	193,000

セクター	組織名	プロジェクトID	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
ICT	EiCat LLC	<a href="#">42532</a>	キルギス共和国	民間の企業向けブロードバンド事業者。本プロジェクトでは、サービスを十分に受けられていない地域のインターネットにアクセスできない契約者を含め、多数のユーザーに EiCat の高速ブロードバンド通信網を拡大することにより、デジタル・インクルージョンを推進し、人々のインターネット・アクセスの質を改善する。	3	    
Health	LBX Pharmacy Chain JSC	<a href="#">43672</a>	中国	22の省で5,000以上の店舗網を運営する医薬品小売業者。本プロジェクトでは、中国の辺境地域における店舗網及び物流網の拡大を支援し、これらの地域の顧客による手頃な価格で質の高い医薬品へのアクセスを改善する。	146.91	  

セクター	組織名	プロジェクトID	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
アグリビジネス	ETC Group	<a href="#">43692</a>	アフリカ 地域	アフリカで複数の農産物の生産、調達、保管、物流、及び消費財の加工に携わっている農業サプライチェーンの管理会社。本プロジェクトでは、金融及びバリューチェーンの統合の強化を支援し、同社のサプライチェーンに含まれる小規模農家に運転資金を提供する。また IFC は、小規模農家の生産性を高め、収穫後損失を削減するための助言サービスを提供する。	10	 
アグリビジネス	CHO Company S.A.	<a href="#">44266</a>	チュニジア	チュニジアの大手オリーブオイル生産会社。本プロジェクトでは、同社の運転資金及び設備投資ニーズを支援すると共に、農家とのつながりを保ち、雇用を維持できるよう支援する。	26.64	 
アグリビジネス	EthioChicken Group	<a href="#">44471</a>	エチオピア	エチオピアで初生ひな及び養鶏飼料の生産を手がける大手企業。同社は代理店を通じてこれらの商品を農村地域の農家に販売している。本プロジェクトでは、同社が新農場の建設によって生産能力を拡大できるよう支援し、タンパク質やビタミン・ミネラルへのアクセスが限られている市場において、消費者が手頃な価格の家禽製品にアクセスしやすくなるよう支援する。またこれにより、家禽販売代理店の所得機会をも拡大する。IFC は本プロジェクトと並行して、女性農家のスキルと生産能力を高めるための助言サービスを提供する。	10	  
インフラ	Moove Africa B.V.	<a href="#">44596</a>	ナイジェ リア	Moove Africa B.V. は、サブサハラ・アフリカで配車サービスの運転手のために車両を調達、運用、維持するプロジェクトを主導している。本プロジェクトでは、同社が運営する柔軟なレンタル・リース・モデルを支援し、運転手とパートナーシップを結ぶことで、運転手が契約期間満了後に自分の車を所有できるよう支援する。配車サービス業界は男性が主流であるが、本プロジェクトには多くの女性が参加しており、配車サービス・モデルの再現可能な実例を示す。本プロジェクトでは、ハイブリッド車を試験導入することに加え、シェアリング・エコノミーに大きく貢献し、自家用車の使用からのシフトを後押しする。	10	  
教育	Ser Educacional S.A.	<a href="#">44072</a>	ブラジル	主としてブラジル北部と北東部の低所得層の学生を対象に、大学の学部、大学院、及び技術教育を手頃な価格で提供している高等教育企業。IFC の投融資は同社の COVID-19 対策の支援に用いられる。この融資は、デジタル・プラットフォームの更新と商品ポートフォリオの開発を支援し、教育モデルを強化し、買収合併を通じて獲得した新たな学生を教育プラットフォームに組み込むことに充てられる。	40	   

## インクルーシブプロジェクト














### 金融セクター

金融セクターにおけるソーシャルボンド適格プロジェクトは、低コストの金融商品やサービスにアクセスしやすくすることに焦点を当てています。サブセクターとしては、ジェンダー・ファイナンス、住宅金融及びマイクロファイナンスが挙げられます。2021年度のターゲット層には以下が含まれます。

- 女性が経営する中小企業 (SME)
- 従来の銀行または融資機関が提供する手頃な価格帯の金融サービスにアクセスできない (多くの場合、低所得層または遠隔地に居住する) マイクロ・ローンの借り手
- 手頃な金利の住宅金融にアクセスできない、サービスを十分に受けられていない個人









### インパクトのハイライト

指標	基準値	目標
住宅ローン融資件数 (件)	157,628	350,093
マイクロファイナンス融資件数 (件)	535,451	679,747
マイクロファイナンス融資金額 (百万ドル)	220	457.6
零細・中小企業 (MSME) 向け融資件数 (件)	7,744	11,979
女性が経営する中小企業 (WSME) 向け融資金額 (百万ドル)	1,571	2,262
女性向けマイクロファイナンス融資件数 (件)	5,545	21,374
WSME向け融資件数 (件)	78,854	114,151
MSME向け融資金額 (百万ドル)	281.7	426.4

セクター	組織名	プロジェクトID	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
ジェンダー・ファイナンス/女性起業家支援	Banco Agricola S.A.	43239	エルサルバドル	エルサルバドルの最大手銀行。リテール銀行の先駆者であり、同国最大の販売網を通じて包括的な商品やサービスを提供している。同行は零細・中小企業やその他の高インパクト・セクターに対する融資ポートフォリオを拡大しつつある。本プロジェクトでは、女性が経営する中小企業を含めた中小企業による融資へのアクセスを拡大するほか、住宅金融及びグリーンファイナンスへのアクセスを拡大する。	37.5	    
ジェンダー・ファイナンス/女性起業家支援	Southeast Asia Commercial Joint Stock Bank	44792	ベトナム	SeABankは、個人、中小企業、企業及び機関を含むすべての消費者グループを対象にあらゆる銀行サービスを提供している。本プロジェクトは、気候関連ビジネスや、女性が経営する中小企業をはじめとする地域の中小企業による融資へのアクセスを改善し、能力強化を推進し、温室効果ガス (GHG) 排出量を削減し、ジェンダー、気候変動対策向けファイナンス及び ESG における国際基準及びベスト・プラクティスを推進することを目的としている。	10	   
ジェンダー・ファイナンス/女性起業家支援	ACLEDA Bank	44882	カンボジア	カンボジア最大の支店網を持つ、システム上重要な銀行であり、女性が経営する中小企業にサービスを提供している。本プロジェクトでは、同社が女性が経営する中小企業を含めた中小企業への金融サービスを拡大し、パンデミック後の回復を加速できるよう後押しする。また、農業部門の中小企業に対する融資を拡大し、デジタル・チャンネルの活用を支援する。	50	   



セクター	組織名	プロジェクトID	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
ジェンダー・ファイナンス/女性起業家支援	Banco Daycoval	<a href="#">45006</a>	ブラジル	ブラジルに本社のある、個人及び法人向けの銀行サービスを提供する商業銀行。女性が経営する中小企業や、サービスを十分に受けられていない地域の中小企業を含め、中小企業による融資へのアクセス拡大を目指している。本プロジェクトを通じて、他の銀行に対し、サービスを十分に受けられていない地域の中小企業に対するエクスポージャーを拡大することを促す。	32.5	   
住宅金融	HDFC Limited	<a href="#">44139</a>	インド	住宅金融に特化したインドで最初の金融会社。本プロジェクトでは、低中所得層が手頃な価格の住宅を取得できるよう、融資へのアクセスを拡大することにより、インド政府の「2022年までに全国民に住宅を」という取り組みを支援する。また本プロジェクトでは、HDFCが開始したばかりの手頃な価格の環境配慮型住宅ポートフォリオを徐々に拡大していけるよう支援する。	250	  
住宅金融	La Hipotecaria Holdings Inc	<a href="#">44536</a>	中米地域	主にコロンビア、エルサルバドル及びパナマの低中所得層を対象とする住宅ローンの組成、回収、証券化に特化した金融サービス・グループ。本プロジェクトでは、女性が世帯主である家庭を中心に、パナマとエルサルバドルの低中所得層に対する住宅ローン融資を支援する。	25	   
マイクロファイナンス	Fondo Esperanza SPA	<a href="#">42684</a>	チリ	チリのノンバンク金融機関であり、脆弱なセクター出身の起業家を支援することにより、17年以上にわたり社会開発に注力してきた実績を持つ。本プロジェクトでは、同社のマイクロファイナンスのポートフォリオを拡大し、現時点で従来の銀行セクターによるサービスを十分に受けられていない低所得層の零細起業家にまで対象を拡大する。	10	   
マイクロファイナンス	Transcapital NBF LLC	<a href="#">43012</a>	モンゴル	モンゴルの最大手マイクロファイナンス機関。本プロジェクトでは、サービスを十分に受けられていない国内のセグメント、つまり零細企業や個人（特に女性や農村地域及び準都市部の人々）による融資へのアクセス拡大を支援する。	11.79	   
マイクロファイナンス	Federacion de Cajas de Credito y de Bancos de los Trabajadores SC de RL	<a href="#">43051</a>	エルサルバドル	協同組合。本プロジェクトでは、エルサルバドルの零細・小規模企業や、女性が経営または主導する零細・小規模企業、及び低所得層に融資へのアクセスを提供する。	60	   
マイクロファイナンス	Kyrgyz Investment and Credit Bank CJSC	<a href="#">43414</a>	キルギス共和国	キルギスのシステム上重要な銀行。IFCのプロジェクトは、低所得層向けの手頃な金利の住宅金融（50%）や女性が経営する零細企業への融資（50%）に焦点を当てながら、サービスを十分に受けられていない人々と零細企業による融資へのアクセス拡大を支援する。IFCによる融資の30%は同行によるエンド顧客への直接融資に充てられ、残りの70%は現地のマイクロファイナンス機関を通じた転貸に充てられる。	6	   

セクター	組織名	プロジェクトID	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
マイクロファイナンス	Union des Mutuelles Alliance de Crédit et d'Epargne pour la Production	43641	セネガル	現地の協同組合連合であり、現在は11の個人向け信用・貯蓄協同組合で構成されている。本プロジェクトは、農村地域のアグリビジネスを含む零細・中小企業による融資へのアクセス拡大を目的としている。*	3	  
マイクロファイナンス	DenizBank A.S	43903	トルコ	民間銀行。本プロジェクトでは、農業セクターの零細・中小企業に融資へのアクセスを提供する。調達資金の一部は、大勢の難民を受け入れてきた、開発が遅れている国内の県へのサービス提供に用いられる。	150	  
マイクロファイナンス	CD Finance Management Co. Ltd	44430	中国	CD Finance Management Co. Ltdは農村地域のファイナンシャル・インクルージョン（金融包摂）に焦点を当て、中国全土の20の省で事業を営んでいる。本プロジェクトでは、サービスを十分に受けられていない、パンデミックによって悪影響を受けた農村地域の零細・小規模企業に対する同社の融資を支援する。	30	  
マイクロファイナンス	PT KB Finansia Multi Finance	44494	インドネシア	零細・小規模の起業家または企業に対し、二輪車や自動車を担保とする融資に注力しているノンバンク金融機関。本プロジェクトでは、同社の融資プログラムを支援し、インドネシアの低中所得世帯や零細・中小企業の回復を後押しする。	50	  
マイクロファイナンス	Kaebauk Investimentu no Finansas	44883 45413	東ティモール	東ティモール最大のマイクロファイナンス機関。本プロジェクトでは、女性の借り手を優先しながら、マイクロファイナンスの借り手、農家、及び農業サプライチェーンのその他の参加者による融資へのアクセスを改善する。	0.5	  
マイクロファイナンス	Agency For Finance In Kosovo	44909	コソボ	零細・小規模企業に焦点を当てたマイクロファイナンス機関。本プロジェクトでは、銀行サービスを十分に受けられていない農村地域と準都市部のアグリビジネスや小規模農家に焦点を当て、これらの企業による融資へのアクセスを拡大する。	0.61	  
マイクロファイナンス	Opportunity Bank Serbia	44087	セルビア	セルビア最大の零細企業向け融資機関であり、全国に30の支店網を展開している。本プロジェクトでは、中小企業を含め、パンデミックによってキャッシュフローに混乱が生じたセルビア企業に対する同行の融資プログラムを支援する。	10.9	  










\* リポート顧客のため、このプロジェクトの指標は過去のインパクト・レポートでも言及されています。

## COVIDプロジェクト

### 実体経済セクター

実体セクターのソーシャルボンド適格プロジェクトは、COVID-19によって経済的な打撃を受けているか、打撃を被りやすい顧客を支援する目的で創設された、IFC実体セクター危機対応ファシリティの一環として実施されました。同ファシリティは、以下の顧客を対象としています。

- 直接的または間接的に影響を受けた国々で、移民の労働力や製造施設の大幅な混乱に直面している顧客
- 混乱が生じたサプライチェーンの一部を構成する顧客
- 売上債権の回収の遅れや収益減に悩まされている顧客
- アジアのコモディティ需要の大幅減少に悩まされている顧客
- サプライヤー基盤が一部に集中している顧客
- 大きな打撃を受けた製造業セクター（例：自動車、耐久消費財、電子機器）、アグリビジネス、小売、観光業及びホスピタリティ、保健、運輸・物流（例：港湾、ラスト1マイルの配達）、インフラ及び公益事業全般（例：水道、廃棄物処理、ガス、電力）セクターで事業を営む顧客
- オンライン小売、製薬会社、診療所及び医療機器メーカーを含め、COVID-19のために商品及びサービスの需要が大幅に拡大した顧客

セクター	組織名	プロジェクトID	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
アグリビジネス	JK Paper Limited	<a href="#">43078</a>	インド	インドの大手紙製品製造企業。本プロジェクトでは、運転資金を提供し、事業拡張計画に必要なキャッシュフローの不足分を補う。本プロジェクトにより、JK Paperは、所得が低い州の農家からの調達を維持することが可能となる。	35.16	 
アグリビジネス	Parag Milk Foods Ltd	<a href="#">43983</a>	インド	インド最大の乳製品企業の1つであり、主要都市で商品を販売し、インド西部と南部で強い存在感を誇る。IFCの融資は、同社に運転資金を提供し、パンデミックの期間中を通じて通常レベルの営業を維持し、農家から余剰牛乳を買い取ることを可能にする。またこの融資は、粉ミルク、凝乳、チーズ、及び澄ましバターの加工量を増やすための長期的な設備投資計画の支援にも用いられる。*	30.76	 
アグリビジネス	Bel Ga Myanmar Limited	<a href="#">44437</a>	ミャンマー	家禽育種業を営んでおり、ミャンマー国内で大きな市場シェアを持ち、更にそのシェアを拡大しつつある。IFCの融資は既存の孵化場の拡張費用に充てられ、同社が COVID-19 による市場の低迷期を通じて営業を続けられるよう支援する。調達資金は、最大40軒の自営商業農家の新規採用のほか、安定した市場を創出し、生計手段を保護し、長期的な食料安全保障に貢献するために用いられる。	4	 
保健	Nobel Ilac	<a href="#">44558</a>	トルコ	100種類以上の医薬品や栄養補助食品を扱う大手医薬品製造・販売会社。20ヶ国で事業を営み、医薬品の製造・マーケティング・販売を手がける、垂直統合された企業グループである「Ulkar Holding Group」の1社。Nobelの運転資金はパンデミック関連の供給ショックによって打撃を受けており、IFCの投融資は同社の恒久的な運転資金ニーズの高まりを満たすために用いられる。*	11.73	  

\* 既存顧客のため、このプロジェクトの指標は過去のインパクト・レポートでも言及されています。


















## COVIDプロジェクト

### 金融セクター

金融セクターのソーシャルボンド適格プロジェクトは、IFCの運転資金ソリューション及びベース・オブ・ピラミッド・プログラムの一環として実施されました。これは、金融セクターの顧客に貿易金融の融資枠、運転資金、及びリスク緩和ソリューションを提供し、零細・中小企業への融資を継続し、雇用を支え、パンデミックによる影響を緩和する目的で創設されたものです。IFCは、一連のツールや投融資を活用し、景気減速によって打撃を受けた地域や国に対する投融資を可能にすることで、これらの金融機関を支援しました。

#### インパクトのハイライト

指標	基準値	目標
マイクロファイナンスの融資件数(件)	893,750	1,282,264
支援した顧客の数(件)	36,000	43,180
転貸を受けた企業の数(社)	0	43,850
提供された運転資金(中小企業及び女性が経営する中小企業向けを含む)(百万ドル)	465	722.5

セクター	組織名	プロジェクトID	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
新型コロナ対策向けファイナンス	Banco Santander	<a href="#">42711</a>	ブラジル	ブラジルで3番目に大きい民間銀行であり、国内唯一の大規模な国際的な銀行でもある。本プロジェクトでは、女性や、女性が経営または主導する企業を含め、国内の中小企業や個人に焦点を当てる。	100	   
新型コロナ対策向けファイナンス	KMF LLC	<a href="#">43882</a>	カザフスタン	カザフスタンの最大手企業であり、全国に強力な支店網を構築している。本プロジェクトでは、農村地域や遠隔地で事業を行っている企業を中心に、COVID-19のパンデミックによって悪影響を受けた、サービスを十分に受けられていない零細・中小企業による融資へのアクセスを拡大する。	25	  
新型コロナ対策向けファイナンス	CARD Bank, Inc.	<a href="#">44003</a>	フィリピン	フィリピン最大のマイクロファイナンス機関の1つ。本プロジェクトは、女性や、女性が経営する企業を含め、パンデミックによって影響を受けた零細・小規模企業顧客に対する同行の融資プログラムを支援することを目的としている。	6.19	   
新型コロナ対策向けファイナンス	CARD SME Bank, Inc.	<a href="#">44004</a>	フィリピン	フィリピンの独立系貯蓄金融機関であり、零細企業から小規模企業への移行を支援している。本プロジェクトは、女性や、女性が経営する企業を含め、パンデミックによって影響を受けた零細・中小企業顧客に対する同行の融資プログラムを支援することを目的としている。	5.16	   

セクター	組織名	プロジェクトID	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
新型コロナ対策 向けファイナンス	NMB Bank PLC	44080	タンザニア	タンザニア最大の銀行であり、226の支店を通じて350万人以上の顧客にサービスを提供している。IFCによる融資は、同社の融資業務拡大を支援し、パンデミックを踏まえた追加的な流動性支援を提供する。*	90	  
新型コロナ対策 向けファイナンス	Banco de la Produccion S.A.	44100	エクアドル	エクアドルの大手銀行であり、リテール銀行業務及び中小企業への融資を含めた商業銀行サービスを提供している。IFCによる融資は、零細・中小企業、女性、及び女性が経営する零細・中小企業に運転資金または貿易ローンを提供することに充当される。	50	  
新型コロナ対策 向けファイナンス	Alternatifbank	44179	トルコ	民間の個人や企業に対し、リテール、コーポレート、及び投資銀行業務の幅広い商品及びサービスを提供している。IFCの融資は、中小企業に運転資金を提供して短期的な資金繰り難を緩和し、中小企業が雇用水準を維持できるように支援するために用いられる。同行は広範な支店網と中小企業向け融資の専門知識を有しており、この危機下で中小企業を支援するのに適した立場にある。	25	  
新型コロナ対策 向けファイナンス	Banco de la Produccion S.A.	44156	ニカラグア	ニカラグア最大の銀行であり、融資の市場シェアは約30%にのぼる。本プロジェクトでは、零細・中小企業、女性顧客、及び女性が経営する零細・中小企業に対する運転資金または貿易金融の融資を支援する。	10	  
新型コロナ対策 向けファイナンス	Latin American Agribusiness Development Corp SA	44332	ラテン アメリカ 地域	ラテンアメリカ・カリブ海地域におけるアグリビジネス・プロジェクトへの融資と開発に焦点を当てた、50年以上の実績を持つノンバンク金融機関。IFCによる投融資は、ラテンアメリカ各地のアグリビジネスを営む中小企業に対し、融資へのアクセスを提供することを目的としている。そうした企業のほとんどは家族経営であり、従来からハイリスクと認識されているためにサービスを十分に受けられておらず、パンデミックによって経営難に陥っている。*	30	  
新型コロナ対策 向けファイナンス	Nations Trust Bank PLC	44416	スリランカ	スリランカでリテール銀行業務を幅広く展開している中規模の銀行。運転資金ソリューションプログラムによる1年間の融資は、パンデミックによってキャッシュフローに混乱が生じた中小企業向け融資を含め、同行の運転資金及び貿易金融融資プログラムを支援することを目的としている。	25	  
新型コロナ対策 向けファイナンス	LAPO Microfinance Bank LTD	45304	ナイジェリア	ナイジェリア最大のマイクロファイナンス機関。主に女性の零細企業主をはじめとする零細・中小企業にサービスを提供している。本プロジェクトでは、同社による、パンデミックによって悪影響を受けた零細・中小企業への資金提供を支援する。	8	  
新型コロナ対策 向けファイナンス	Hattha Bank Plc.	45535	カンボジア	25の都市と州に拠点を置く全国規模の商業銀行であり、農村地域の零細・中小企業や女性が経営する零細・中小企業に幅広くサービスを提供している。本プロジェクトでは、同行の零細・小規模企業及び女性が経営する零細・中小企業向け融資ポートフォリオを支援し、パンデミック下でのこれらの企業による融資へのアクセスを改善する。	10	  
新型コロナ対策 向けファイナンス	Equity BCDC	45557	コンゴ民主 共和国	コンゴ民主共和国の商業銀行。IFCが実施した現地通貨建て融資は、同行の零細・小規模企業顧客の成長を支援し、これらの企業に対し、大いに必要とされている現地通貨建て融資を提供することに用いられる。	50	  

\* 既存顧客のため、このプロジェクトの指標は過去のインパクト・レポートでも言及されています。







## 属資料A

# IFCソーシャルボンド・プログラムのプロセス

IFCソーシャルボンド・プログラムは、市場のベスト・プラクティスに従い、ソーシャルボンド原則を遵守しています。

### 構成要素1：

## 調達資金の使途

IFCソーシャルボンドによる正味調達資金は、ソーシャルボンド適格プロジェクトへの融資業務と関連したサポートフォリオに割り当てられています。プロジェクトのうち、ソーシャルボンドによる調達資金から資金供与を受けられるのは融資の部分のみであり、エクイティ投資及び保証はソーシャルボンドの資金供与対象外です。

適格プロジェクトとは、IFCの女性起業家支援プログラムまたはインクルーシブ・ビジネス・プログラムのいずれかの要件を満たし、IFCが部分的または全面的に資金供与するプロジェクトを指します（ボックス1を参照）。

### 構成要素2：

## プロジェクトの評価と選定

資金供与を受けるすべてのプロジェクトは、ソーシャルボンドの適格基準を満たすだけでなく、厳格なデューデリジェンスの手続きを経ています。適格プロジェクトは、IFCの環境と社会の持続可能性に関するパフォーマンス基準及びIFCのコーポレートガバナンス枠組みを遵守しています。プロジェクトは継続的なモニタリング及び監督の対象となります。

### 構成要素3：

## 調達資金の管理

IFCソーシャルボンドによる正味調達資金は、場合により米ドルに換金された後、IFCの財務勘定内で指定されたサポートフォリオに割り当てられ、IFCの流動資産管理・運用ガイドラインに従い、投融资が行われます。債券の発行残高がある限り、IFCの融資ポートフォリオの中から選ばれた「適格プロジェクト」への融資実行額と同額がサポートフォリオの残高から減額されます。適格プロジェクトには、女性が経営する企業を支援するプロジェクト（女性起業家支援適格プロジェクト）、インクルーシブ・ビジネス・プロジェクト（インクルーシブ・ビジネス適格プロジェクト）、及び国際資本市場協会（ICMA）が発行したソーシャルボンド原則に規定されてい

る基準を満たすプロジェクト（ソーシャルボンド原則プロジェクト）が含まれる可能性があります。適格プロジェクトは、IFCが部分的または全面的に資金供与する全プロジェクトの中から選ばれます。IFCは、直接的または間接的に融資を行う権利を留保します。

ソーシャルボンドが支援するプロジェクトでは、社会課題の解決に関連した要素が、大きな投資プロジェクトの一部であるケースがあります。こうした場合、ソーシャルボンド・ポートフォリオは、プロジェクトの基準に適格する部分のみに融資します。投資対象会社には、全投資期間を通じたプロジェクト活動とパフォーマンスに関する定期報告が義務付けられ、こうした報告を元に、適格プロジェクトのモニタリングと監督を行っています。

ソーシャルボンドの元利金の支払いは厳格にIFCの信用力に基づいており、IFCが上記の適格基準に従って実施する投融资案件に直接の影響を受けるものではありません。

### 構成要素4：

## 報告

IFCソーシャルボンド・インパクト・レポートは、ベスト・プラクティス及び「**ソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み策定に向けた取り組み**」内のソーシャルボンド原則の報告指針に従って作成されています。これは、透明性を高めることでソーシャルボンド市場の整合性を確保することを目的とする指針です。

本レポートには、ソーシャルボンド調達資金から資金供与を受ける資格のあるプロジェクトの一覧、またそれぞれの守秘義務を考慮した上で各プロジェクトの概略、適格融資額、期待される社会へのインパクトを掲載しています。本レポートには、ソーシャルボンドの融資対象となるプロジェクトのみを記載しています。

## > インパクト指標の選定

IFCと他の多国間・二国間開発機関は、過去10年の間、投融資プロジェクトに関する共通の開発指標の作成に取り組んできました。その結果、**民間セクター事業の統一指標 (HIPSO)** が策定され、26の国際金融機関がこれを導入しています。この指標のリストは、主としてセクター・レベルの成果指標で構成されています。

ソーシャルボンド・プログラムによるインパクトを報告する上で、IFCはHIPSOパートナーシップが合意したセクター特有の多くの指標<sup>8</sup>を使用し、必要に応じて他の指標を採用しています。この指標には、以下が含まれます。

### 実体セクター

- 支援を受ける農家の軒数
- 携帯電話契約者数(被支援者数)
- 保健医療サービスを受ける患者数
- 支援を受ける学生数

### 金融セクター

- 女性が経営する中小企業への融資件数<sup>9</sup>
- マイクロファイナンス融資件数
- 住宅ローン融資件数





## > ターゲット層の特定

IFCソーシャルボンド・プログラムは、融資にアクセスできない女性が経営する小規模企業、質の高い保健医療にアクセスできない低所得世帯、農産物の市場へのアクセスがない小規模農家といった、健全な生活の重要な要素である生活必需品やサービスへのアクセスがなく、サービスを十分に受けられていない人々を対象としています。IFCは、金融仲介機関への投融資を行うことにより、IFCが直接支援することのできない、零細・中小企業などの顧客に金融サービスを届けています。

ガイダンス資料である**ソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み策定に向けた取り組み**<sup>10</sup>に記載されたソーシャルボンド原則の推奨に従い、本レポートの適格プロジェクト・セクションには、セクターごとのターゲット層を記載しています。

## > 指標の見方

IFCは、可能な限り、セクターごとにインパクトを定量化しています。指標を算出できないか、守秘義務の理由により情報を開示できない場合は、定性的なインパクトを記載している場合があります。

インパクト指標は、企業が報告するデータに基づいて、顧客レベルで追跡しています。IFCの拠出額に応じた按分は行っていません。

各セクターのコア指標の定量化は、ソーシャルボンド・プログラムの報告書に基づいて行っていますが、報告されたデータには限界があることをご了承ください。結果を解釈する上での主な留意点は以下の通りです。

- **効果の範囲:** 報告は、プロジェクト承認時における事前評価に基づき、主にプロジェクトの直接的な効果に関するものです。
- **不確実性:** インパクト指標の予測における重要な留意点は、往々にして、指標は多くの仮定に基づいているという点です。プロジェクトの実際のインパクトは、当初の見通しとは大きく異なる可能性があります。
- **比較可能性:** プロジェクトやセクター、またはポートフォリオを比較する際には、基準値(及び基準年)に違いがある可能性があるため、注意が必要です。また、セクターや国ごとの背景も考慮する必要があります。
- **遺漏:** プロジェクトは、報告書に記載されているよりも幅広い指標に影響を及ぼしているか、他にも重要な開発効果を及ぼしている可能性があります。さらに、プロジェクトによってはコア指標が適用できないか、データがない場合もあります。

## > IFCの情報アクセスに関する方針

情報アクセスに関する方針は、IFCの持続可能性枠組みの基礎であり、透明性の向上に向けたIFCのコミットメントを明確に表したものです。

私たちは、投融資、及び顧客、パートナー、ステークホルダーへの助言活動に関する情報を正確かつ適時に提供するよう努めています。プロジェクト、環境・社会への影響、そして期待される開発効果に関する情報については、理事会での検討に先行して公開しています。

この方針は、ソーシャルボンド・プログラムから資金供与を受けるプロジェクトに適用されます。

IFCソーシャルボンド・プログラムの詳細については、[www.ifc.org/socialbonds](http://www.ifc.org/socialbonds) をご覧ください。

<sup>10</sup> <https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/impact-reporting/>をご覧ください。

## 付属資料B

# 過年度のコミットメント及び融資実行額の調整

2019年度に適格プロジェクトに分類し、コミットしたプロジェクト1件について、2021年度にソーシャルボンドの資金供与の対象外と判断しました。それに伴い、IFCソーシャルボンドの調達資金の管理と追跡を調整しました。

## 付属資料C

# ロシアとベラルーシにおける世界銀行グループの業務の最新状況

IFCは2015年以降、ロシアで新規のコミットメントを実施しておらず、2022年3月2日現在、ロシア及びベラルーシにおける世界銀行グループのプログラムはすべて停止されています。





## 作成者

本レポートは、IFCの資金調達及びインベスター・リレーションズ・チームによって作成されました。

作成者：Esohe Denise Odaro、Vera Sevrouk、Marsha Monteiro

寄稿者：広報チームの Irena Guzelova、インクルーシブ・ビジネス・チームの Kathleen Mignano 及び Karima Chaisaengchan、ESG チームの Atiyah Curmally、Aditi Jagtiani、Felipe Albertani 及び Charles Canfeild

データの提供または編集にご協力いただいた Asra Nomani、Bing Noman Yuliawati、Emma-Kate Symons 及び Flora Chao に感謝申し上げます。

## Disclaimer

本報告書は情報提供のみを目的として作成されています。IFCは、本報告書に含まれる情報、意見、結論の完全性や信頼性に関して、いかなる保証及び表明も行わないではありません。

掲載されている報告や情報、またはこの報告書の中で言及されているウェブサイトから得られる情報は、過去のもので、その時点での情報を述べているに過ぎません。IFCはこれらの情報を更新する義務を一切負いません。

本報告書は、IFCが発行するいかなる債券についても評価基準を提供するものではありません。また、いかなるIFCの債券についても予約または購入を勧誘、推奨または提供するものではありません。いかなる状況においても、IFCまたはその関係機関は、本報告書の情報の使用に起因するいかなる損失、損害、負債、費用に対しても責任を負いません。これには直接的損害、間接的損害、特別損害、派生的損害を含み、それらに限らず、たとえそのような損害の可能性についてIFCが報告を受けていた場合を含め、いかなる状況においても、IFC及びIFCの関係機関は責任を負いません。

IFCに関するより詳しい情報は、以下のIFCのウェブサイトより、最新版「インフォメーション・ステートメント」、財務諸表、その他関連情報を参照してください。

[www.ifc.org/investors](http://www.ifc.org/investors)

以下を除き、肖像権はIFC及び世界銀行にあります。P.6、P.19、P.21 (iStock)

アイコンはFreepik ([www.flaticon.com](http://www.flaticon.com)) により作成されています。





IFC Investor Relations  
International Finance Corporation  
2121 Pennsylvania Avenue NW  
Washington, D.C. 20433

Email: [investors@ifc.org](mailto:investors@ifc.org)  
Twitter: @IFC\_Investors

[ifc.org/investors](http://ifc.org/investors)

2022年3月